

令和5年度第2回尾張旭市健康推進委員会 議事録〔要旨〕

【開催日時】

令和6年3月11日（月）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時30分

【開催場所】

尾張旭市保健福祉センター4階 シアタールーム

【出席委員：12名】

安井 徹郎（瀬戸旭医師会）
古峪 秀樹（尾張旭市歯科医師会）
裕原 吉久（尾張旭市薬剤師会）
若杉 里実（愛知医科大学）
森 和雄（尾張旭市自治連合協議会）
大橋 きよ子（尾張旭市地域婦人団体連絡協議会）
久野 博行（尾張旭市スポーツ協会）
大池 幸子（尾張旭市健康づくり食生活改善協議会）
吉田 民子（尾張旭市健康づくり推進員会）
原口 浩美（瀬戸保健所）
丸山 雄二（公募委員）
嶋崎 裕志（公募委員）

【欠席委員：2名】

小川 浩平（旭労災病院）
松浦 哲生（公立陶生病院）

【傍聴者】

なし

【出席した事務局職員等】

西尾健康課長、川原課長補佐、磯村課長補佐、宮下副主幹

【議題】

- (1) 「第2次健康あさひ21計画」最終評価のためのアンケート調査結果について
- (2) 「第2次健康あさひ21計画」の最終評価結果について

【会議の概要】

- 1 開会
- 2 議題
- 3 その他
- 4 閉会

1 開会

<欠席委員、会議公開についての報告、資料確認>

2 議題

(1) 「第2次健康あさひ21計画」最終評価のためのアンケート調査結果について ＜事務局より資料に基づき説明＞

(A委員)

結果報告書 58 ページ問 32 では、K6（こころの状態を評価する指標）の合計得点もわかるようにしたほうが良いのではないかと。回答したご本人も自分がどの程度なのかがわかるような設問にしたほうが良いのではないかと。

(事務局)

参考ではあるが、最終評価報告書の 13 ページに「合計得点が 10 点以上の方が 17.4 パーセントである」と記載をしている。

(B委員)

同じく問 32 で出ている結果に対して、何か対応は考えているか。今は愛知県でも自殺者がすごく増えていて、今民生委員をしているので特に F の「自分は価値のない人間だと感じた」などを見ると大丈夫かと心配になるし、尾張旭にもそういう人が出ないようにしたいと思っている。結果だけを見るのではなく、どう対応していくのが問題。

(事務局)

地域福祉計画の中には自殺者対策という項目もあり、当然連携を取りつつ、今後の課題などを整理し、対策を考えていくことは重要な課題と考えている。

(B委員)

ぜひ対応していただきたい。自殺者が一人でも減れば、なんとか止めれたらと思う。今ちょうど入学や卒業などで、県から防止のパンフレットをいただく時期である。結果だけ見て、はいそうですかでは終わらないと思うので。

(A委員)

「困ったときや心配なことがある時に相談できる人はいますか」という質問があった。どんな時が困った時なのかを例示したり、心配なことを相談できる場所や機関などがあるのを知っているかを聞いたりしてはどうか。困っていて相談できる人いますかと聞いても意味がないし、対応のしようがない。どんなことで困っているのか、相談できるところが具体的にどこにあるのかを聞くようにしたほうが後に活かせるのではないかと。

(事務局)

今後のアンケート対応では、検討させていただきたい。

(2) 「第2次健康あさひ21計画」の最終評価結果について ＜事務局より資料に基づき説明＞

(A委員)

14 ページ「喫煙している人の割合」で中学生が 0 パーセントになっているが、どのような調査方法だったのか。

(事務局)

中学校での調査数をおおむね 200 としており、今回は東中学校に調査を依頼した。学校のタブレットを活用して、WEB で回答をしてもらった。

(A委員)

学校を通じているので正直に答えていないのではと疑問に思ったので。

(A委員)

11 ページに【今後の課題】が挙げてあり、次いで「ポイント」に今後の課題をまとめてあるが、逆に抽象化している感じがする。もっとこれを具体化しないといけないと思う。全体的にそうだ

が、より具体性を持ってやる必要があるのではないかと思う。

29 ページの主な実施事業一覧に、計画達成のために健康課で実施していることが書かれているが、どれだけ取り組まれたのか実績がわからない。

私は「らくらく筋トレ教室」を6～7年やっているが、この表では「栄養・食生活」「身体活動・運動」「歯の健康」に関連とある。筋トレ教室で市から来ていただいた方の講習があるが、理学療法士しか来ていない。歯や栄養などの関係は今まで聞いた覚えはないがどうなっているのか。

「各種事後教室」に「タニタ健康プログラム教室」とあるが、イトーヨーカドーに行ったらそのコーナーに器具が置いてあって自分で計るという方式だった。事業と書いてあったが、これは何に関係するのか。

事業がこれだけ掲げてあってそれなりに努力をされているのだろうが、どれだけ活動されたかといったことがない。アンケートの結果だけ指標にして調べているから、何をどうやったか実績がはっきりしない。計画をどう実施したかがわかるようにした方が良いのではと思う。

(事務局)

今回の最終評価報告については、今回のアンケート計画に基づいて取りまとめさせていただいている。来年度以降の計画策定にあたり、現在の計画にどう運用した上でどう関連付けしていくかについて、今回の最終経過報告書の内容を踏まえて検討を進めていきたいと考えている。また皆さんのご意見もいただきたいと思うのでご協力お願いしたい。

(事務局)

健康課事業としてやっているが、具体的にどういうことをやっているかがわかりにくいというご意見。また、事業は独立しているように見えるが実はリンクをしているので、どういう視点でどのような事業を行っているかというご意見。これらも合わせて今後の計画に盛り込んでいきたい。

(C委員)

数字を見るとその意味はわかるが、例えば食育の中で関心が少し下がってきていて、どこに関心があるかということバランスの良い食事の部分は結構どの世代でも高くなっている。バランスの良い食事はわかっていてもどう行動に移していくかの部分で恐らくストップしていて、年代によっては朝食を食べなかったりいろいろな形でそのデータはやはり連動している。

また、心の健康の部分も今は睡眠指針が新しくなって、良い睡眠が取れていないと市民は言っているのも見えてきている。この計画は10年以上経って、今から第3次を策定していくにあたり確かにもう少し具体的に示したほうが、尾張旭市がどう向かっていくのかが良くわかるのではと感じる。

これから第3次計画を策定していくが、誰一人取り残さない健康づくりと国がうたってきている。誰一人取り残さないのであればやはり具体的に関連付けて示していかないと、次の計画が一人一人のためになっていかないのではないかと感じた。

3 その他

(事務局)

- ・ 「健康ポイントプログラム 2023」についての紹介と周知のお願い
- ・ 来年度会議日程、会議報酬について

4 閉 会

以上